

広域ごみ処理

焼却施設（双葉地方広域市町村圏組合）

- ① 南部衛生センター（檜葉町）の除染は平成24年9月に完了している。震災後、稼働しているが、震災による被災と老朽化等が著しく、平成25年度に災害復旧工事を実施。今後も対策地域内廃棄物の処理のための施設整備を環境省と協議している。平成26年3月高カロリー対策工事の一部を完了。平成27年も引き続き高カロリー対策工事を実施。

焼却灰の最終処分が出来ないため、場内に仮置きしていたが保管スペース確保のため館の沢埋立最終処分場を環境省が仮置場として整備し、8,000 Bq/kg以下の焼却灰（主に主灰）を平成25年6月下旬から搬入している。また、8,000 Bq/kgを超える焼却灰（主に飛灰）については、コンクリートボックスに詰め、飛散防止策をとりながら一時保管を継続しているが、平成26年度末でほぼ一杯になっている。

焼却灰等の処分先と、双葉地方の一般廃棄物焼却施設の更新についても環境省と協議を進めている。

※H24. 8. 10 檜葉町区域再編により避難指示解除準備区域

- ② 北部衛生センター（浪江町）の現況を把握するために、平成24年10月に施工業者が設備の目視点検を行った。平成25年11月から、浪江町の除染に併せて除染を実施し、平成26年3月完了。平成26年に作業環境を保つため施設内清掃及び放射線不安払拭工事を完了。平成27年度中に北部衛生センターの復旧工事を行い稼働に努める。

※H25. 4. 1 浪江町区域再編により帰還困難区域

最終処分場（双葉地方広域市町村圏組合）

クリーンセンターふたば（大熊町）を焼却灰の仮置場として活用できないか検討したが、高線量地域での作業となり、労働環境上不適切であることから、関係機関と協議し檜葉町にある館の沢埋立最終処分場を環境省が仮置場として整備した。なお、環境省が計画している富岡町の既存管理型最終処分場を活用した埋立処分事業において、双葉郡内の生活ごみ（10年分）の焼却灰等を処分することとしている。

※H24. 12. 10 大熊町区域再編により帰還困難区域

広域し尿処理

し尿処理施設（双葉地方広域市町村圏組合）

汚泥再生処理センター（富岡町）を平成24年4月に先行除染。9月に施行業者による設備の目視点検終了。

除染後の線量管理や警戒区域見直しで、居住制限区域になったことにより復旧工事を進めた。

稼働に向けて、平成25年6月から労働環境を保つため施設内のクリーニング及び敷地内追加除染も併せて実施し、平成26年3月に復旧のための詳細調査を行い、復旧工事を平成27年3月に完了し、4月から供用を開始した。

双葉環境センター（旧施設）は、震災により法面が崩落しているが、今後富岡町の災害廃棄物と併せて国の直轄事業で施設の解体について進める。

※H25.3.25 富岡町区域再編により居住制限区域

広域汚泥処理

し尿汚泥・下水汚泥処理施設（双葉地方広域市町村圏組合）

クリーンセンターふたば（大熊町）内の汚泥リサイクルセンターは震災で停電のため配管に汚泥が詰まっており、今後稼働するためには先行して、配管内の汚泥を取り除く必要があるが、労働環境上不適切と思われることから、代替施設等について関係機関と協議している。

なお、一部町村の下水道施設等の復旧により汚泥処理（処分先の確保）が必要になり、平成25年度から広野町の下水汚泥を民間処分場で処分完了。

平成26年度に広野町、檜葉町の下水汚泥を民間処分場で処分完了。平成27年度に広野町、檜葉町、双葉環境センターの下水汚泥等を民間処分場で実施する。

平成25年2月、施工業者が施設の目視点検を行った。

※H24.12.10 大熊町区域再編により帰還困難区域

その他広域施設

火葬場（双葉地方広域市町村圏組合）

斎場「聖香苑」（双葉町）の再稼働は、見通し困難。各町村の帰還時期に併せ除染を行い復旧等協議検討して行く。また、多くの避難者が居るいわき市において、火葬場の利用が混雑して来ているため、代替施設についても早期の施策を講じる。

※H25. 5. 28 双葉町区域再編により帰還困難区域

准看護師養成等施設（双葉地方広域市町村圏組合）

公立双葉准看護学院（双葉町）の再開は、管理運営を委託している双葉郡医師会と実習病院の確保などもあり、見通し困難。今後の帰還に影響を受ける。双葉町の帰還困難区域における除染モデル事業に併せ除染を実施し、平成25年10月完了。

※H25. 5. 28 双葉町区域再編により帰還困難区域

インフラ復旧工程表（双葉地方広域市町村圏組合 管理施設）

平成27年3月現在

●→ : 工程が見込めるもの ●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H26年度に実施したこと(成果)	H27年度に実施すること(目標)	H27年度				H28年度				H29年度				H30年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
ごみ処理(焼却施設)																		
(楡葉町) 南部衛生センター	双葉地方広域市町村圏組合	警戒区域内で許可を得て稼働 ※H24.8.10より避難指示解除準備区域	焼却灰(8千Bq以下)については敷地内保管していたが、仮置場の整備が整い平成25年6月下旬から鉛ノ沢埋立最終処分場に仮置きしている。平成26年度に高カロリー対策工事の一部を実施。	復興庁のメニューで引き続きごみ焼却施設の高カロリー対策工事を実施予定。	仮置中 高カロリー対策工事				仮置中				処分場					飛灰(対策地域内廃棄物)については、環境省の委託事業として南部衛生センター敷地内に当面保管している。
(楡葉町) 南部衛生センター	双葉地方広域市町村圏組合	昭和56年3月の竣工から34年を経過することから、現施設敷地内に改築を予定。			ごみ処理基本構想・基本計画策定				循環型社会形成推進計画策定				調査等					一般廃棄物焼却施設の更新について、平成26年5月14日復興庁に要望している。27年度に基本計画等の策定を行い、環境省の循環型社会形成推進交付金事業で行うため地域計画を策定して平成32年を目途に更新する予定。
(浪江町) 北部衛生センター	双葉地方広域市町村圏組合	帰還困難区域内 停電により機器類の作動の確認は出来ないが目視では建物一部被災	平成27年3月で放射線不安払拭工事を完了。	平成27年5月から復旧工事を実施予定。	復旧工事				本稼働									労働環境の確保ができず再稼働の見通しが困難であったが、先行除染及び施設内清掃が完了し、放射線低減対策を講じて労働環境を確保して復旧し、早期の稼働に努める。
ごみ処理(最終処分場)																		
(大熊町) クリーンセンターふたば	双葉地方広域市町村圏組合	第一原発から3km圏内 停電により機器類の作動の確認は出来ないが目視では建物一部被災		環境省が今後の利用計画を提示して管理者会議等に説明。	協議													環境省が計画している富岡町の既存管理型最終処分場を活用した埋立処分事業において、双葉郡内の生活ごみ(10年分)の焼却灰等を処分することとしている中間貯蔵施設予定地
し尿処理																		
(富岡町) 汚泥再生処理センター ※双葉環境センター 後継予定施設	双葉地方広域市町村圏組合	居住制限区域内 停電により機器類の作動の確認は出来ないが目視では建物一部被災 ※現在他区域で処理対応	平成27年3月に復旧工事を完了。	平成27年4月からの本格稼働。脱水汚泥処理を適正に進める。	本稼働 脱水汚泥処理(民間処分場)													今後発生する脱水汚泥は、民間処分場で処分。(下水道汚泥処理と同様に実施する。)
(富岡町) 双葉環境センター ※旧施設	双葉地方広域市町村圏組合	居住制限区域内 場内道路及び法面が崩落停電により機器類の作動の確認は出来ないが目視では建物一部被災	平成26年度に富岡町に合わせ除染を完了。	今後、環境省と解体工事の協議を進める。	協議・調査・工事													富岡町の災害廃棄物処理置場の状況により、環境省の直轄事業として実施予定。
し尿汚泥・下水汚泥処理																		
(大熊町) 汚泥リサイクルセンター	双葉地方広域市町村圏組合	第一原発から3km圏内 停電により機器類の作動の確認は出来ないが目視では建物一部被災	一部町の下水道等施設の復旧により汚泥処理(処分先の確保)が必要であり、平成26年度から広野町、楡葉町の下水道汚泥を民間処分場で処分を実施。	代替施設について協議を進める。広野町、楡葉町、双葉環境センターの下水道汚泥等を民間処分場で処分を実施。	下水道汚泥処理(民間処分場) 協議													下水道担当課長会議で代替施設建設が必要である方針。中間貯蔵施設候補地
火葬場																		
(双葉町) 斎場「聖香苑」	双葉地方広域市町村圏組合	帰還困難区域内 停電により機器類の作動の確認は出来ないが目視では建物一部被災		いわき市において、多くの避難者により火葬場の利用が混雑してきているため、代替施設について早期に施策を講じる。	協議・調査・現施設				協議・調査・設計・建設									再稼働の見通し困難で、代替施設が必要である方針。
准看護師養成施設																		
(双葉町) 公立双葉准看護学院	双葉地方広域市町村圏組合	帰還困難区域内 停電中 目視では建物一部被災		今後について検討。	協議・調査・現施設				協議・調査									生徒は他の学校に転入し、休業中。実習病院の確保等で再開の見通し困難 平成25年度モデル除染完了。
双葉郡立仮設診療所(仮称)																		
(いわき市) 双葉郡立仮設診療所	双葉地方広域市町村圏組合	福島県がいわき市に建設を予定している。復興公営住宅(北好間・勿来酒井)に合築整備する双葉郡立診療所の整備。		福島県復興公営住宅の状況によって、調査設計を進める。	協議・調査				協議・調査									福島県と協議を進める。
双葉地方会館																		
(富岡町) 双葉地方会館	双葉地方広域市町村圏組合	居住制限区域内 停電中 目視では建物一部被災		富岡町役場の帰還に合わせ清掃、修理等を検討。	協議・調査・工事								施設内清					施設内清掃

※本工程表に記載の内容については軽微な修正を行う場合があります。